

|           |                 |  |         |   |
|-----------|-----------------|--|---------|---|
| 法人(事業所)理念 |                 | ・すべての人が病院ではなく住み慣れた地域、家庭で在宅生活を安心して過ごせること。また、夢の実現を一緒に考えること。そして理念を共有し、自主的に活動できる在宅医療・介護の人材育成も目指している  |         |   |
| 支援方針      |                 | ・医療と連携しながら、地域で自立してその人らしく生活できる支援<br>・「あるといいな」をカタチにする取り組み。家庭のような雰囲気の中で家族とは違う体験ができる支援<br>・一人ひとりに寄り添いながら、楽しく活動できる支援                                |         |   |
| 営業時間      |                 | 9時30から17時30分まで   | 送迎実施の有無 | あり（距離や時間により要相談）   |
|           |                 | 支援内容   |         |   |
| 本人支援      | 健康・生活           | ・朝訪問等での体調確認と対応をする(利用時)<br>・個々のケア表を作成し、医療機関との連携を行った医療的ケアなどを行う<br>・個々の生活リズムに合わせた細かな対応(食事・排泄・睡眠)  |         |   |
|           | 運動・感覚           | ・リハスタッフと共に安心安楽な姿勢で過ごせるよう支援する(ポジショニングの共有)<br>・自ら動きたくなるような環境を整え、楽しく身体を動かす(斜面・ごっこ遊び・見立て遊び・体操)<br>・五感に訴える活動を行い、楽しい経験を積み重ねていく(揺れ遊び・制作等)             |         |   |
|           | 認知・行動           | ・活動プログラムの中で、四季を感じたり、色の弁別や数の認知ができるようにする<br>・色々な素材に触れ、感覚遊びを提供し、楽しめるようにする   |         |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ・表出の汲み取りとフィードバックを繰り返し、安心感と自発的な表出に繋げる<br>・簡単なサインのやり取りによるコミュニケーション手段の確立を促す   |         |   |
|           | 人間関係<br>社会性     | ・集団遊びの中で簡単なルールを知り、協力する事を経験できるようにする<br>・異年齢の縦割り社会の中で、いたわる気持ちや尊敬できるような関わりができるようにする<br>・集団の中で、自分を表現でき認めてもらい経験を積み重ねていけるようにする                       |         |   |
| 家庭支援      |                 | ・訪問看護と連携した障害の特性に合わせた環境の整備や相談への助言<br>・家族の就業やリフレッシュのための利用  | 移行支援    | ・移行に関わる情報提供<br>・ケースの担当者会議への参加   |
| 地域支援・地域連携 |                 | ・地域への散歩や公園遊び<br>・各関係機関との担当者会議の参加<br>・重症心身障害児者ネットワーク会議への参加<br>・南区地域連絡協議会への参加<br>・地域の運営推進委員会の開催<br>・多摩療育ネットワークの参加<br>・市の協議会への参加<br>・特別支援学校との連携会議 | 職員の質の向上 | ・毎月毎の全体ミーティング<br>・法定研修(コンプライアンス・虐待防止等)<br>・摂食研修<br>・サビ児管研修<br>・各専門職スキルアップ研修 |
| 主な行事等     |                 | ・季節の活動行事:水遊び・クッキング・誕生会・ハロウィン・クリスマス・節分・ひな祭り等<br>・家族参加行事:秋祭り・遠足・餅つき  |         |   |